

■EU： 欧州委員会、スマートメーターの導入を加盟国政府へ要請

欧州委員会は 2009 年 3 月 10 日、エネルギー需要と温室効果ガスの削減に向け、スマートメーター（双方向通信機能を有するメータ）など、エネルギー分野における情報通信技術（ICT）の活用を加盟国政府に要請した。欧州委員会の試算では、スマートメーターの活用により、消費者にエネルギー利用状況をリアルタイムで知らせることで、消費者の消費行動が変わり、家庭におけるエネルギー需要を 10 パーセント削減できるとしている。今回の要請は、スマートメーターが最低限備えるべき機能について加盟各国の合意を求めるものともなっている。スマートメーターは、エネルギー利用の効率化を進めるだけでなく、再生可能エネルギー導入拡大に向けたスマートグリッド構築にも大きな役割を果たすと期待されている。現在、欧州委員会は、この要請を正式な EU 勧告として公布すべく、パブリックコンサルテーションの実施を計画している。